

■ ホタル観賞会・「滋賀コレかるた」を使った新春かるた大会

(志津南まちづくり協議会 青少年育成委員会)

1 【活動の趣旨】

大人と子どもが、学校と地域が、ともに活動することによりともに学び合い、地域で子どもの健全育成に資することを目的として事業を進めている。

2 【特徴的な活動内容】

○ホタル観賞会

ホタルを観賞しに行く前に、志津南まちづくりセンターで、地域の方によるホタルの生態を題材にしたオリジナル紙芝居や、ホタルに関する豆知識クイズを行った。その上で、予め設定した伯母川流域の観賞ルートに少人数のグループに分かれた子どもたちを誘導した。子どもたちは、自然の中のホタルの姿を観察するという驚きとワクワクに満ちた体験を通じ自然を大切にすることを学んだ。 実施 6月10日(土) 19時～21時



【ホタルの豆知識クイズ風景】

参加者 205名 (内 小学生90名 保護者他75名 スタッフ40名)

○「滋賀コレかるた」を使った新春かるた大会

「滋賀コレかるた」は、滋賀県の名所や特産品、歴史や文化を感じさせる物事などをかるたにして、遊びながら自分の住んでいる滋賀のことを学び、滋賀を愛する心を育ててほしいというコンセプトで作られており、このかるた大会でも、ただ単にかるたを取るだけでなく、1枚1枚解説を加えながら滋賀のことを知ってもらうようにした。 実施 1月21日(日) 10時～11時30分 志津南小学校体育館にて



【かるた取りの様子】

参加者 55名 (内 小学生18名 保護者他17名 スタッフ20名)

3 【実施に当たっての工夫】

ホタル観賞会では、あらかじめ観賞ルートを下見して危険と思われる場所を確認し、その場所に見守り隊を配置した。また、「ホタルの会」の方と事前に打ち合わせをし、その際にいただいた資料などを活用した。かるた大会では、小学生を対象にしたので、あらかじめ「ゐ」「ゑ」「を」「ん」を抜いておいた。



【ホタルに関する資料】

4 【事業の成果】

子どもにホタルの自然の光を見せることができ良かったという保護者の声が多く寄せられた。かるた大会では様々な親子の姿があり、共働き世帯が増えている昨今、家族や親子で過ごす時間が少なくなっているため、このような事業の大切さを感じた。



【絵札の解説】

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

ホタルや天候という自然相手の事業は日程が組みにくいという点、予想を上回る参加申し込みがあり、大人数での観賞は近所迷惑になりかねない面もあった。かるた大会は開催場所が小学校の体育館であったこともあり、参加の申し込み案内を保護者向けの連絡アプリへの掲載や事前に打ち合わせをして学校の備品を借用することができ助かった。